

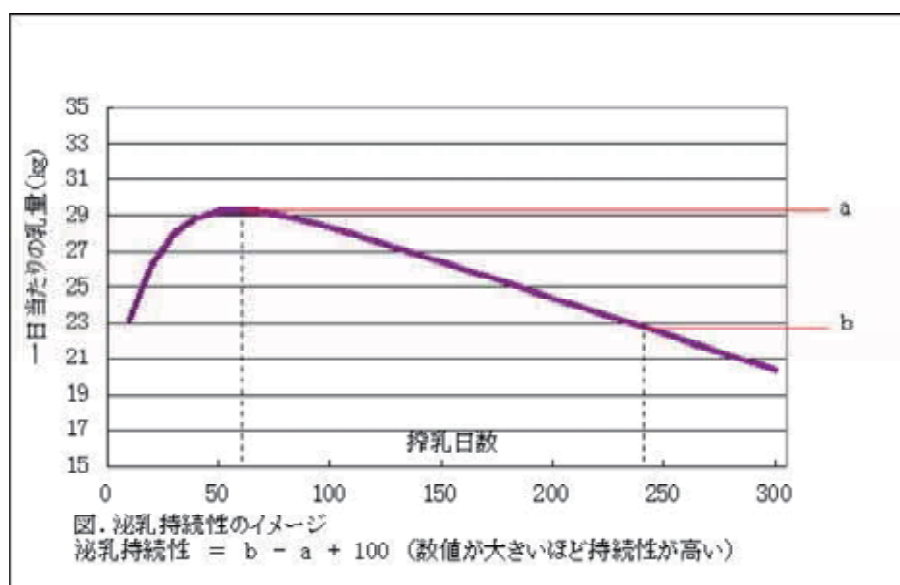
2008-III以降の変更事項について

◎ 泌乳持続性の遺伝的能力評価開始

泌乳持続性とは、ピーク時の乳量を持続する能力のことをいい、以下を指標として遺伝的能力を評価します（遺伝率：0.13）。

泌乳持続性＝分娩後 240 日目の乳量－分娩後 60 日目の乳量＋ 100 ※

※ここで 100 を加えたのは、遺伝的能力評価に用いる泌乳持続性の値が「0」にならず、かつ、プラスの値となるよう配慮したことによる。遺伝的能力評価結果には影響しない。



泌乳持続性の評価値は、ベース年（2000 年）生まれの雌牛の EBV（推定育種価）を 100 とし、標準偏差により標準化した 97 ～ 103 の 7 段階で表示します。

泌乳持続性評価値	
102 ～ 103	： 泌乳持続性が比較的高い
99 ～ 101	： 普通
97 ～ 98	： 泌乳持続性が比較的低い

◎ 体型形質に係る遺伝的パラメータの変更

遺伝的能力評価に使用する遺伝的パラメータについては、評価モデルを変更した際などに見直しが必要であるほか、経年による情報の蓄積とともに見直すことが必要です。

体型形質については、2003（平成 15）年に遺伝的パラメータを変更して以来 5 年が経過し、一定量の情報が蓄積されたことから、新たに推定した遺伝的パラメータを 2008-Ⅲ評価時から使用します。

形質	旧(現行) 遺伝率	新(2008-Ⅲ以降) 遺伝率
体貌と骨格	0.22	0.27
肢蹄	0.12	0.13
乳用強健性	0.22	0.34
乳器	0.11	0.20
決定得点	0.20	0.27
高さ	0.46	0.53
胸の幅	0.20	0.30
体の深さ	0.27	0.38
鋭角性	0.13	0.25
尻の角度	0.31	0.41
坐骨幅	0.32	0.34
後肢側望	0.13	0.20
後肢後望	0.11	0.11
蹄の角度	0.09	0.05
前乳房の付着	0.12	0.21
後乳房の高さ	0.19	0.26
後乳房の幅	0.15	0.21
乳房の懸垂	0.18	0.20
乳房の深さ	0.27	0.46
前乳頭の配置(後望)	0.36	0.38
後乳頭の配置(後望)	0.23	0.31
前乳頭の長さ	0.31	0.40